

暁木会会員 各位

令和元 年 9 月 吉日

暁 木 会

<http://www.gyoubokukai.jp/>

平素は、暁木会の活動にご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

今回の暁木会ニュース第 40 号では平成 30 年度総会報告に加え、スタートライン、昨年 11 月に着任された銭谷誠司先生の研究報告、東京支部総会報告などを会員様から寄稿して頂いております。ぜひご通読頂けますようお願いいたします。

今後とも大学、学生、会員等の皆様に幅広くニュースをご通読して頂けますよう広報 G も頑張っ参りたいと考えております。皆様にもご協力の程よろしくお願いいたします。

平成 30 年度総会

平成 30 年度の総会と懇親会を例年通り湊川神社の楠公会館で開催いたしました。今回の総会も例年通り、新入会員 104 名と対面形式の配席でとり行われました。

総会では、来賓紹介、会長挨拶、5 議案の審議、新役員紹介、大学近況報告、支部活動報告、KTC 報告が例年通りに行われました。その後、新入会員の紹介、優秀学生 5 名の表彰がありました。新会員歓迎の言葉として、芝本芳生様 C05 より、新会員に向けて励ましの言葉が述べられました。新会員代表の挨拶は【市民工学教室表彰】を受賞した田中芳典様から、若者らしい挨拶がありました。

懇親会は、来賓者を代表して名誉教授の沖村孝先生^⑩からごあいさつと乾杯のご発声をいただき歓談に移りました。最後は、中山恵介教授の中締め挨拶で終了となりました。

令和元年度の暁木会役員は会長に新制 31 回の安藤友昭様、副会長に新制 36 回の黒澤正之様、新制 35 回の石原茂様、その他 9 人の常任幹事で構成されることとなります。なお、議案の内容は HP の資料をご覧ください。



■ 総会の様子



■ 新会員の自己紹介

日時：平成 31 年 3 月 26 日（火） 総会 18:00～19:20、懇親会 19:20～20:40

会場：湊川神社 楠公会館

出席者：ご来賓(名誉教授、教官) 20 名、会員 59 名、卒業生・修了生 104 名（合計 183 名）

議事：1.会務報告 2.会計報告 3.監査報告 4.役員改選 5.予算案

【新会長：安藤友昭^⑩、新副会長：石原茂^⑮】

【新常任幹事：飯塚教雄 C04、竹本修^⑬、能沢昌和^⑭】

次第：・大学近況報告、支部活動報告、KTC 報告

- ・暁木会会長賞：岩田遼様
- ・KTC 理事長賞：坂口拓洋様
- ・修士論文最優秀発表賞：岡田信瑛様、大川弘佑様
- ・市民工学教室表彰：田中芳典様
- ・新会員歓迎の言葉：芝本芳生様 C05
- ・新会員代表の挨拶：田中芳典様

懇親会：・来賓挨拶・乾杯：沖村孝様^⑮ ・中締め：中山恵介様

会員数：卒業・修了者：4,939 人、会員数 3,833 人（平成 30 年 3 月末現在）

令和元年度役員

会長：安藤友昭^⑩、副会長：黒澤正之^⑯・石原茂^⑮、KTC 副理事長：水池由博^⑰

KTC 理事：室井敏和^⑲・尾原勉^⑳、KTC 監事：池野誓男^㉑

常任幹事：向井淳 C99、永井哲夫^㉒、飯塚教雄 C04、廣田宗朗 C96、川口和行 C01

竹本修^⑬、門脇正夫^㉓、喜多孝 C98、能沢昌和^⑭



■新会員代表挨拶 田中芳典様



■懇親会来賓挨拶 沖村孝先生^⑮



■懇親会の様子



■懇親会の様子

スタートライン

株式会社竹中土木 大阪本店
北陸新幹線敦賀駅高架橋他作業所 奈須 隆一 18C

私は、2018年に株式会社竹中土木に入社して、今年で2年目になります。当社は1年間の研修制度を経て、2年目に正式配属になります。1年目の研修は、上期に宮城県気仙沼市で【津谷川河川災害復旧工事】、下期は福井県敦賀市で【北陸新幹線、敦賀駅高架橋他工事】の2つの工事を経験しました。現在は引続き当工事現場で従事しています。



当工区は、北陸新幹線 金沢～敦賀間延伸区間（2022年度末開業予定）の内、敦賀駅工区の約1キロメートルの高架橋を建設する工事（進捗率約52%）です。私の主な業務は、先輩の指導のもと、現場測量、出来形・品質管理、安全管理などを行っています（14C卒の佐藤俊先輩にも指導して頂いています）。2年目になり日々業務を行っている中で、スムーズに作業を行えるように段取りするために、協力会社の方たちとコミュニケーション取り合うことがとても重要であると実感しています。また、日々作業を行う人の立場に立って段取りを行うことを心掛けています。

現場での仕事は、開業に向け急ピッチで作業をしているため、非常に体力を使います。特に気候変動の多い北陸地域なので、雨季は1か月の大半が雨であり、1月には雹が降りしきる中で作業をすることもありました。駅舎部の生コン打設日は、早朝から夜遅くまで、ほぼ1日かけて行うことがよくあります。そんな目まぐるしく動く現場ですが、ふと自分が作っているものを見ると、改めてこんなにも大きなものを作っているのだと実感が沸いてきます。これからも自分たちが作る作品を誇りに思い、仕事をしていきたいと考えています。



敦賀駅高架橋工事の上空写真

研究報告 (宇宙空間物理学)

都市安全研究センター／市民工学専攻 特命准教授 銭谷誠司

4月1日付けで都市安全研究センター・阪神高速シミュレーション研究ユニットに着任しました銭谷です。私の専門分野は宇宙空間プラズマ物理学で、東京大学大学院理学系研究科で学位を取得したのち、NASA（アメリカ）、国立天文台、そして京都大学などの宇宙科学関係部門で研究員生活を送ってきました。主な研究対象はプラズマ中で磁力線がつながり変わる「磁気リコネクション」という現象です。磁気リコネクションは太陽フレアを引き起こし、地球極域のオーロラのエネルギー源になるなど、宇宙環境に大きな影響を及ぼします。私は主にスーパーコンピューター上の超並列プラズマシミュレーションを使って、磁気リコネクションの物理メカニズムの研究を進めてきました。



今回は、神戸大学の知人の先生から、都市安全研究センターで防災シミュレーション分野のプロジェクトを立ち上げるにあたってスーパーコンピューターの専門家を探しているというお話を伺い、中期的に世界最大級のスパコン（京・富岳）を使って仕事できる環境に魅力を感じてプロジェクトに合流させていただくことにしました。

神大・都市安では、次の3つの仕事に取り組んでいく予定です。1つめは、高速道路の設計図面から情報を抽出する技術の開発です。これまでの研究とは大きく違う内容ですが、画像・図形認識技術はプラズマデータの解析やその他の用途に転用できる普遍的な技術ですから、楽しく作業させてもらっています。2つめは、研究グループで用いられているシミュレーションコードをスパコン環境に移植して、神戸全域の防災診断などの応用研究を加速させることです。私自身のこれまでの経験を活かして、コードの超並列化やスケール性能の改善など、開発のお手伝いをできればと思います。

3つめは、宇宙空間物理学と都市防災を繋ぐ研究を展開することです。太陽フレアなどは地球周辺のプラズマ環境に磁気嵐という擾乱を引き起こします。そして、大きな磁気嵐の際に地表に起電力が働いて電流が流れ、電力系にダメージを与えることがあります。こうした被害は高緯度地方に限定されると考えられていましたが、(1)我々の生活がこれまでに以上に電気に依存していることに加えて、(2)最近、太陽タイプの恒星も超巨大フレアを起こることがわかってきたため、日本を含む中・低緯度の都市地域でも「地磁気誘導電流」対策の研究が必要になってきました。そこで我々は、電磁シミュレーションを使って百～千年に一度クラスの超巨大フレアによる被害を予想して、最悪の事態から都市を守る「宇宙防災」研究を行う計画で、そのためのコード開発を開始したところです。予測にあたって地盤・海底の知識（電気伝導度など）も必要になるため、当該分野の専門家の方々のご助言・ご協力を得られれば幸いです。

都市安全研究センターには、都市全体を仮想化した「都市丸ごとシミュレーション」を使って地震・津波などの災害被害を予測する大きな計画があります。この計画を少し広げて、宇宙防災を組み込んだ「拡張版・都市丸ごとシミュレーション」に発展させることを目指して、頑張っていければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

東京支部総会報告

1. 日時 令和元年 6 月 7 日（金）18:00～20:30
2. 会場 ホテルグランドヒル市ヶ谷
3. 出席者 来賓：藤田一郎教授、安藤友昭本部長、支部会員 35 名

令和元年度暁木会東京支部総会は、大学より藤田先生、暁木会本部より安藤会長にご出席いただき、35名の東京支部会員が参加して開催されました。

まず総会前に藤田先生より「河川流計測手法の開発と国内・海外への展開」というテーマでご講演いただきました。総会では野村支部長の挨拶に引き続いて議案審議が行われ、森田篤支部長（新 35）、長尾達児副支部長（新 37）、石井卓司事務局長（新 36）という新役員人事を含むすべての議案が滞りなく承認されました。そして、安藤会長よりご挨拶と本部の活動状況のお話をいただいた後、最後に本部助成金目録の新支部長への授与をもって総会議事を終了しました。

総会後の懇親会では、冒頭で藤田先生より大学の近況をご報告いただいた後、和久照正氏（新 16）に参加者を代表して乾杯の発声をしていただきました。その後、長尾達児氏（新 37）の土木学会論文賞と溜幸生氏（院 22）のブラインド解析コンテスト（アメリカ）優勝の晴れの紹介もあり、終始和やかな雰囲気の中で新会員の田中敦士君、北村紘基君を含めて、ご来賓、会員同士の楽しい歓談が続きました。最後は今後事務局を担当する 84 入学 5 人組による一本締めで、盛況な懇親会を締めくくりました。

令和元年度も新支部長、新副支部長のもとで暁木会のよりいっそうの活性化に努めたいと考えております。引き続き、みなさまのご支援、ご協力をよろしく申し上げます。

（報告者：東京支部事務局 鴻池組 石井卓司 ㊿）



集合写真

暁木会年会費納入のお願い

暁木会は、母校の発展、学術研鑽並びに同窓生相互の親睦のための活動を進めておりますが、会員の皆様からいただく会費を収入源として運営しております。平成31年3月末時点で約1,200名の会員各位にご理解とご協力をいただき、会員名簿や暁木会ニュースの発行、総会等の行事、市民工学教室への援助などの事業を実施しております。

会員の皆様には、暁木会の活動にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

しかしながら、会費を納入いただいている会員数が未だ十分ではなく、このままでは会の活動にも支障を来しかねない状態となっております。

つきましては、大変恐縮ではございますが、会費納入の手続きが未了の会員各位には、会費の納入にご理解とご協力をお願い致します。

年会費額、支払い方法等は以下のとおりです。

1. 年会費額 ￥3,000円

年会費納入の登録をいただいた会員には、暁木会会員名簿（2年ごとに発行）を送付させていただきます。

2. 年会費の支払い・登録方法

集金代行機関として三菱UFJニコス株式会社に委託し、会員の指定金融機関から年1回「自動引落とし」させていただきます。

会費納入の手続きが未了の会員各位には、info@gyoubokukai.jpに氏名、連絡先を記載の上メールしていただきますようよろしくお願いいたします。「預金口座振替登録書（集金代行）」と「返信用封筒」を郵送させていただきます。

最後になりましたが、業務多忙の折、執筆を引き受けてくださった皆様に心からお礼申し上げます。

また、会員の皆様から、本ニュースへの新企画、寄稿などを募集しています。特に、同窓会をされた際には、ぜひその様子を寄稿下さい。

その他、ご意見ご要望等ございましたら、下記連絡先までよろしくお願い申し上げます。

発行者：暁木会

E-mail：info@gyoubokukai.jp

連絡先：常任幹事 広報 G 喜多 孝 C98

株式会社 昭和設計

TEL：06-7174-8770 FAX：06-7174-8773

E-mail：t-kita@showa-sekkei.co.jp